

活動報告

団体名	U.grandma Japan
活動名	「平成30年7月豪雨災害の地域コミュニティの為の生活支援及びサロン活動」
活動期間	2019/04/01～2019/09/30
活動の成果	<p>コミュニティサロン・包括支援・みなし仮設支援、「つながる居場所食堂（グランマ食堂）」、勉強会、宇和島市各地域の防災支援、三世代交流イベント「がき商店」やワークショップ、飲食等、子どもからお年寄りまで楽しんでいただけるイベントなどを実施しました。今回の活動での一番の成果としましては、中間支援組織の宇和島 NPO センターの設立が出来たことです。宇和島市で最も被害の大きかった吉田町。市役所の支所や、銀行などが集まる一角に「宇和島 NPO センター Carriage(キャリッジ)吉田バンズ」を7月3日に開所しました。「平時でも、顔が見える関係をつくる」ために、いろいろな団体に関わってもらうのも大切なことと考え、時には助成金を頂く為のお手伝いをしたり、直接的な支援をしたり。ニーズや情報を引き出して、より良い団体へつないでいきたい。そんな思いから、今後もネットワークを広げ市や社協や企業とも深く連携していきたいと思っています。サロン支援では、最初は大規模での開催を計画していましたが、みなし仮設の被災者の方にヒアリングしていく中で少人数で月一回ペースの方が落ち着いて参加でき、毎月が楽しみになっていいというご意見を頂いたので、少人数で回数を増やしての開催へと変更をしました。そうする事で、いろいろな人との深い関わりで日々の悩み事やボランティア団体との濃いふれあいが出来ました。また、防災教育では子ども食堂を交えての教育イベントや企業と行政との協力で大規模なイベントを開催する事が出来ました。身近な地域が被災したという事もあり、興味を持って参加してくれる方が多くお年寄りから子どもまで楽しめるイベントはとても喜ばれました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>被災者の生活は、日常の生活へと向かっているように感じますが、まだまだ手つかずの場所や地域があります。その中で、他県ボランティア団体は撤退していています。その担い手の後任を探したり、指導者を置くことも大切になっています。そのニーズやフェーズに合った情報収集をコミュニティサロン支援や包括支援で行う。また、今後の大規模災害を見据えた自主防災組織をもった地域コミュニティづくりの支援を行う事で、突発的な災害に備えた地域の連携づくり、行政×企業×NPO（ボランティア）の連携づくりを行います。そうする事で、自分達の地域は、自分達で守るという意識を芽生えさせる。</p>

(活動のようす)

